



人事の選任

件名	概要	議決結果
大木町固定資産評価審査委員会委員の選任	任期満了となる 本村昭雄氏 を引き続き選任する。	同意 (全員賛成)



■意見書名

拡大生産者責任(EPR)とデポジット制度の法制化を求める意見書

■提出議員 西田 勉

■賛成議員 牟田口美智子、中島和正、徳永豊、眞崎萬次

■要旨

ポイ捨てゴミの氾濫や廃棄物処分場の確保の問題、更にはごみ処理費負担増による基礎自治体財政の圧迫など、ゴミ問題を取り巻く状況はますます深刻化している。

持続可能な循環型社会を築くためには、わが国の大量生産・大量消費・大量廃棄・大量リサイクル型の経済社会を見直し、廃棄物の発生抑制、再利用を優先する社会を築くことが必要である。そのためには、生産者が、生産過程でゴミとなりにくいような製品を作り、使用済み製品の回収・資源化まで責任を持つこと、すなわち処理・リサイクル費用のすべてを製品価格に含めた拡大生産者責任(EPR)の導入が必要である。また、使い捨て容器にはデポジット制度を導入することで、対象となった容器の、高い回収率が期待でき、資源利用の促進や廃棄物の発生抑制、ポイ捨て・不法投棄の防止に対しきわめて有効な手段である。

よって、大木町議会は、政府に対し、容器包装廃棄物の発生抑制、再利用・再資源化を促進し、循環型社会の実現を図るため、OECDが提唱する拡大生産者責任、及びデポジット制度の導入について、積極的に検討し、早期に制度化を図るよう強く要望する。

この意見書は、本会議において採択し、内閣総理大臣をはじめ、各関係機関に送付しました。



道の駅おおき 紙コップ回収機(10円戻る)



ドイツ研修 デポジット制回収機